

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した取組、その他の対策事例の紹介をします。

今回の紹介地区 No.027 新潟県 新潟市 内野地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積216ha、うち耕作放棄地13.7ha

放棄の理由：農産物価格の低迷及び農業者の高齢化に伴う労働力不足等

荒廃の程度：雑草が繁茂し、天地返しなど人力・農業用機械・重機による作業が必要

取組概要

対象面積：0.26ha(畑)

実施期間：平成21年9月1日～9月14日

取組のきっかけ：生産規模拡大を図ろうと地区内の担い手農家が4月に市(地域協議会)へ相談したところ、本対策が紹介され、取り組みが具体化

調整経緯：農業委員会が地主と利用者との調整を行い、実施に至る

取組主体：農家(栽培作物：大根、そら豆)

作業内容：刈払、整地、土壌改良等

今後の予定

再生作業後に土壌改良(堆肥投入)を行い、平成22年4月以降に大根等の作付けを予定



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先：新潟県担い手育成支援総合協議会

025 - 285 - 5511(代表)(新潟県農林水産部地域農政推進課)

今回の紹介地区 No.028 岐阜県 瑞浪市 平岩地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要 : 農地面積55.9ha、うち耕作放棄地1.3ha
放棄の理由 : 高齢化による労働力不足等
荒廃の程度 : 草刈り等もなされておらず、人力、農業用機械、重機による作業が必要

取組概要

対象面積 : 0.58ha(水田)
実施期間 : 平成21年5月11日～6月15日
取組のきっかけ : 耕作放棄地再生利用推進事業(H20補正)で地域協議会が地域の営農組合に作業を委託して耕作放棄地を再生し、その利用について引き続き営農組合に働きかけ、大豆栽培の取組が具体化
調整経緯 : 地域協議会が地主と利用者との調整を行い、実施に至る
取組主体 : 営農組合(作物:大豆)
作業内容 : 土壌改良

今後の予定

平成21年7月に大豆をは種、11月に収穫(産地確立対策交付金を活用)。次年度も同様に大豆作を予定。



問い合わせ先: 瑞浪市担い手育成総合支援協議会 0572-68-2111(瑞浪市農林課)

今回の紹介地区 No.029 大阪府 能勢町 地黄^{しおう}(歌丸)地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要 : 農地面積 2.3ha、うち耕作放棄地 0.29ha
 放棄の理由 : シカ、イノシシ等の有害鳥獣による被害が大きく、その影響により山際の農地から遊休化が進行
 荒廃の程度 : 灌木の伐採、除根、深耕、整地が必要

取組概要

対象面積 : 0.29ha(畑)
 実施期間 : 平成21年9月～11月
 取組のきっかけ : 府協議会及び地域協議会等が農業者及び集落営農組織等を対象に本制度の説明・PRを随時行ったところ、本取組主体から事業の応募があり実施に至った
 調整経緯 : 府協議会及び地域協議会が、地権者と利用者との調整を行った
 取組主体 : 農家等で構成する任意団体(地黄遊休田対策委員会)(予定作物:野菜等)
 作業内容 : 灌木の伐採、除根、深耕、整地等(草刈りは厚労省の緊急雇用対策で実施)

今後の予定

再生農地は農地保有合理化法人による利用権調整の手続きを経て、2月から作付け準備の作業を開始する予定



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後